

ほけんだより 2月

社会福祉法人 智雲山福祉会 こがね保育園 令和 3年 1月 29日 発行

国内における新型コロナウイルス感染者の増加傾向は過去最多の水準を更新し続けています。本県においては、1月14日に県独自の緊急事態宣言を発令し、県内全域の飲食店に対する営業時間の短縮や不要不急の外出自粛等の最大限の強い措置を要請しました。

感染症は誰もがかかる可能性がある疾患です。正しい情報に基づいた冷静な行動をお願いします。また、感染された人やご家族のプライバシーの保護や人権の尊重に配慮頂すよう理解と協力をする必要があります。

だれだって
いつだって
感染しうるから、

思いやりの
咳エチケット



差別は
許されな



予防のために大切な手洗いアルコール消毒。手洗い後、水を止めるためにピカピカの手で水道のレバーに触ったり、アルコール消毒液節約のためにポンプを半押しで使ったりしていませんか？手洗いを終え、ほっとしたところに、せっかくの手洗いを残念な手洗いにする落とし穴があります。手洗い後はペーパータオルや肘など使って捜査し水を止め、濡れた手はウイルスや微生物が付着しやすいので、よく乾燥させて1フッシュ押し切って消毒すると効果的になります。

手指のアルコール消毒直後も危険 暖房器具による火災事故に注意



取扱注意



火を熱源としない電気ストーブなどの暖房器具でも、可燃物が接触すると過熱され火災に至るおそれがあるとして、事故を防ぐポイントとして「周囲に可燃物を置かない」「近くで衣類を乾かさない」「就寝時やその場を離れる時は電源スイッチを切り、電気プラグを抜く」など、正しい使用方法を確認するようにしましょう。

また、新型コロナウイルス感染症予防の為にアルコール消毒液を、石油ストーブなどの火気を伴う暖房器具の近くで使用したり、手指の消毒直後に近づけたりする行為は、引火する恐れがあるといえます。

やけどをしたときの対応・・・

やけどの手当は冷やすことが第一。冷やすことで細胞の破壊を防ぎます。衣服がくっついている場合は、脱がさずにみずをかけて冷やすこと。手足などの部分的なやけどは流水で、顔などは水を入れた袋を当てて、いずれも20分以上冷やします。広範囲のやけどは、水でぬらしたシーツなどで体を覆います。

- ① 患部を冷やす・・・患部に直接触らないようにして、ように、患部以外は毛布な20分以上冷やし続ける。体温が下がりにすぎないで保温を。
- ② 清潔なガーゼで覆う・・・水ぶくれもなく、患部も小さいようならば、何も塗らずに清潔なガーゼを当てて様子を見る。

こんな時は病院へ

直径1.5cm以上の水ぶくれができていて、皮膚がただれている、白く変色しているといった時は緊急を要する状態。救急車を呼び到着するまで冷やし続けること。顔や陰部のやけどは、程度が軽くても跡を残さない為を受診するのが望ましい。

登園停止の病気について



保育園は集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、子どもたちが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について登園許可証の提出をお願いします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育生活が可能状態となつてからの登園であるようご配慮下さい。

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発症から1日前から出現後の4日後迄	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	発症24時間前から後3日間が多く通常7日以内に減る	発症後5日間及び解熱後3日を経過してから
風疹	発疹出現の数日前から5日間位	発疹が消滅してから
流行性耳下腺炎 <small>おたふくかぜ</small>	発症2日前から耳下腺腫脹後5日間位	耳下腺の腫脹が消失してから
水痘(水ぼうそう)	発疹2日前から痂皮形成まで	全ての発疹が痂皮化してから
結核		感染の恐れがなくなってから
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱・充血など症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血・眼脂など症状が出現した数日間	感染力が非常に強い為結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身症状が良好であること(抗菌薬を決められた期間服用すること。7日間服用後は医師の指示に従う)
腸管出血性大腸菌O157など		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によっていずれも菌陰性が確認されたもの
感染性胃腸炎	症状のある間と症状消失後1週間(量は減少していくが数週間菌を排出しているため注意が必要)	嘔吐、下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること(医師の診断)

※登園停止の病気には、高熱や発疹など子どもにとって辛い症状のものが多くあります。また、重篤な症状を起こすものもあるので「人にうつるから」だけでなく子どもの身体の為にも十分休ませてあげましょう。

※その他にも、原因不明の発熱・咳・嘔吐・下痢・発疹などの症状があるときも医師の診断が必要です。また、発熱したときは前日に38度以上の熱が無いことが登園の目安になります。

